

## 一般財団法人日本介護福祉施設健診協会 設立趣意書

高齢化の波はとどまることをしらず、今日の日本は「超高齢社会」に突入した。それに伴い 75 歳以上の高齢者の医療費は年間 12 兆 7,213 億円と膨れ上がり、その財源確保と抑制が叫ばれている。一方で、介護施設では介護職員が不足し、また家庭では老々介護や孤独死などが社会的問題となり、高齢化先進国である日本が抱える問題は、これまでどの国も経験しことの無い未知の領域に達している。

医療法人三光会は平成 18 年に設立し、設立当初より高齢者介護施設の巡回健診事業を行ってきた。ご施設のご要望を汲み取り、それぞれのご施設に合ったきめ細やかなサービスは反響を呼び、現在では 300 以上の施設と取引するまでに至っている。我々が提供する介護福祉施設への健診サービスは、高齢者の健康維持向上により高齢者の生活を豊かにするだけでなく、介護する側の労働の軽減と、施設運営の効率化とサービス向上にも寄与するものであり、高齢者・家族・介護者・施設運営者、様々な立場側面から最良のサービスであると確信している。

しかし、取引先が増えるにつれ、これまでの水準でサービスを提供し続けることは医療を専門とする当法人にとって難しい側面も多く今後の規模拡大への弊害となることから、渉外（ご契約・お打合せ等）及び収納事務等の業務を分離独立させ、一般財団法人日本介護福祉施設健診協会を設立するに至った。

一般財団法人日本介護福祉施設健診協会は、医療法人社団三光会が蓄積したノウハウと公益性を有した財団組織を活かし多角的な視点から介護施設を支える存在として新たな分野・地域への進出と組織規模の拡大をはかり、老人健診のパイオニアとしての自信と誇りを持ち高い志でサービスを提供することが当財団設立の趣意である。

平成 25 年 10 月 30 日

医療法人社団 三光会

理事長 乾 忠雄